

8月11日 山の日。台風7号が関東に近づいて時折にわか雨が降りました。この日もいつものようにラジオ体操を桃源台公園でしていました。すると突然の雨。西の空に大きな虹が見えました。まさに「早起きは3文の得」です！

紅葉台



新聞

第96号

2023年

9月23日

発行人：関谷 孝

牧野記念庭園 博士が愛した植物園へようこそ



NHK 朝ドラ「らんまん」は植物が好きな人にとっては勿論のこと、牧野富太郎という「日本の植物学の父」と呼ばれる植物分類学の基礎を築いた素晴らしい功績を知るまたとない機会になったのではないのでしょうか。

牧野富太郎は、1862年4月24日高知県高岡郡佐川村の酒造り『岸屋』に生まれた。幼少の頃に父母を亡くし、祖母に育てられた。ほぼ独学で植物の知識を身に付け、東京大学植物教室に出入りするようになった。新種のヤマトグサに学名を付け日本人初の命名となった。このあたりの詳しいいきさつはドラマに譲ることにするが、博士の代表作「牧野日本植物図鑑」に研究が集約されている。ぜひ手に取ってご覧ください。圧倒的な植物の知識と共に天性の描画力に驚きます。しかし、研究のため出費がかさみ実家の経営は傾き、妻壽衛（すえ）の献身的な支えや経済的な支援を受けながら研究をした。経済的に困難な中、生涯に発見・命名した植物は1500種類以上、40万枚もの植物標本を収集した。国内植物約8000種類のうち1500種類以上を命名している。

晩年は練馬区大泉町の牧野記念庭園に居を構え94歳で亡くなるまで約30年間ここで研究や執筆をしたゆかりの地である。他にも有名なのは「高知県立牧野植物園」があるが、東京には「小石川植物園」「東京都立大学牧野標本館」がある。（紅葉台新聞86号にて紹介）

今回は、練馬区の「牧野記念庭園」に出かけたので紹介する。ここは、武蔵野の雑木林が広がっていたところで、博士が採取してきた植物を見ることが出来る。渦巻で「の」の字が牧野の意味で、博士が植栽した植物に記されている。正門を入ると目に付くのが、さくらの大木である。カンザクラ・ヤマザクラ・サトザクラ・仙台屋サクラ（高知県仙台屋から移植された）などが目を引いた。ちょうどクイズをしていたのでそれに従って見学することにした。有名な「スエゴザサは、妻・壽衛への感謝と愛情をこめ命名した。博士の胸像や顕彰碑、歌碑の周辺に生育している。それにしても妻は何一つ不平を言わず13人子供を産み7人を育て、研究を支えた献身は博士が歌



碑に感謝を刻んでいる。妻への感謝と愛情に胸が熱くなる歌を見てほしい。また、練馬区の銘木ヘラノキは、プロペラのように種を遠くに飛ばす役割があることを初めて知った。また、記念館は邸宅の跡地に建



紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

てられている。博士の遺品や愛用の採取道具、線描道具（筆毛はネズミの毛！）、書物、植物図を見ることが出来る。晩年は日本全国を植物採集に出かけた様子が写真になっている。博士は笑顔で楽しく皆さんと採集している写真が残っており、お人柄をしのぶことが出来る。明るくユーモアがある方なのではないかと想像する。牧野博士の書「生い茂る」という意味がある額が入り口にあった。書斎はたくさんの本がうず高く積まれていて小さな机に背を丸めて研究する姿を想像し、在りし日の面影を偲んだ。ここから世界に向かって発信していったのであると思うと感慨深いものがある。最後に入り口でクイズシートを見せ、博士の飼猫のシールをもらった。



入り口近くにビデオで見どころを案内する講習館があるので、初めに立ち寄って庭園にある植物のレクチャーを受けるといい。ドラマにも登場する「バイカオウレン」の話やドラマの俳優のサインもあり、心ときめく。ドラマでは、竹雄（ファンなので）のような一途で思いやりにあふれる生き方にあこがれる。牧野博士は、天性の才能をたくさんの人に支えられながら開花した。まさに牧野博士は「植物に人生をささげた」類まれな人であったとしみじみ思った。

追伸：もうすぐ朝ドラが終末を迎えます。終わるとロスになりそうです。朝ドラと共に毎回たくさんの草花のこのことを知りました。（文責 関谷）

粕谷和夫の観察日記

オオカナダモ



浅川の支流の湯殿川で毎月1回野鳥のカウントを行っています。8月の湯殿川では、外来種オオカナダモが白い花を



咲かせます。ここにカルガモがやって来てオオカナダモの葉を美味しそうに食べていました。

ハグロトンボ

近くでハグロトンボがオオカナダモに産卵していました。ハグロトンボは黒い羽根にキラキラ光沢の美しいボディを持ったトンボです。他のトンボとは違いハタハタとゆっくり優雅に飛ぶ姿も印象的です。お盆の時期によくみられるので神様トンボと呼ぶ地方もあるらしいです。

秋の七草 クズが開花しました。クズは、他の植物に覆いかぶさって繁茂し、荒れ地や道端などでみられるツル植物で厄介者のように見えますが、花はとも綺麗ですね。（8月1日）

